

12/15 朝日

薬価4月引き下げ 医療費3600億円超減

政府調整、半数以上対象に

下げ幅は近く決定する。

医療用医薬品は政府が決める薬価よりも実際の取引価格が安くなる傾向にある。厚生労働省が今月公表した調査では、薬価に比べて取引価格が平均8・0%安かつた。厚労省は平均よ

りも価格差が大きい品目について引き下げの対象とすることを検討していたが、14日の官邸での協議では、年だったが、官房長官時代の菅氏が主導して毎年見直す方式に改め、今回がその初回となつた。医療費は2019年度に概算で43・6兆円。薬価引き下げで国民負担は軽減されるが、高齢化などを背景にした医療費の大きな伸びを抑制する効果は限定的だ。(久永隆一)

政府は医療用医薬品の価格の「薬価」を来年4月に引き下げる。3600億円の医療費を削減する方向で最終調整に入つた。患者負担は軽減されるが、新型コロナウイルスの

感染拡大の影響で経営に打撃を受けている医療機関や薬局は収入減となる。

菅義偉首相、麻生太郎財務相、田村憲久厚労相が14日、官邸内で会談し、方針を確認した。最終的な引き